



## ニュース&トピックス

### コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指、靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

### 香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の支援の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野毅教授が行います。面談を希望される方は、トライアングルスタッフ杉山・赤堀までお声掛けください。日程はトライアングル玄関に掲示してあります。

### 放生館裏の駐車場について

4月1日より、放生館裏の駐車場の利用が可能となります。工事期間中はご不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

### ご意見・ご感想をお寄せください

第11回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお祈りします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

**楽**しみにしていた桜の見ごろもあっという間に過ぎ、もう葉桜の季節ですね。お子さんたちは、新年度が始まった慌ただしさから少しずつ落ち着きを取り戻しつつある頃でしょうか。暖くなったとはいえ、まだ花冷えの季節でもありますので、体調をくずすことのないようお気をつけてお過ごしください。

ニュースレター第11号をお届けします。育児の参考にいただければ幸いです。

## コミュニケーションのベースにあるもの

常葉大学教育学部 初等教育課程講師 野村 和代

**新**しい年度を迎えて、新しい季節となりました。昨年のおよく分らない怖さのなかで手探りでやってきた状況から、今はどの人もリスクを感じながらもバランスを取りながら日常生活を送ることができているのではないのでしょうか。

コロナ禍で『オンライン化』が急速に進みましたが、3月は「子どもの特性を知ろう！～ASD編～」という親御さん向けの勉強会を対面とオンライン開催の二段構成で実施しました。参加された中3の子どもの保護者の方が「子どもの特性について強く言われることは多々あり、ある意味耳を塞いできました。特性を不器用という言い方がずっと耳に入ってきました。恐怖からの言葉ではなく砕いた説明からのお話が聞きやすかった。」という感想を寄せてくださいました。

今回の勉強会は、『コミュニケーションってなんだろう』というのが裏テーマだったのですが、寄せていただいた感想を読んだときに、以前読んだフィンランドの教育の本のことを思い出しました。その本には「日本人は『話せばわかる』と思っているけれど、フィンランド人は『わかるために話す』」という文章がありました。フィンランドは非常に多国籍で多様な文化があり、それぞれの価値観・前提の違いがあるからということ。感想にある「強く言う人」は自分のなかの「わかっている」ことを相手（親御さん）に投げつけていたのでしょうか。もしかすると相手（親御さん）はそれを受け取ることもできず、投げ返すこともむずかしい状況があったのかもしれません。そういったことは親子や家族の中にも起きてしまうことがあります。

少し話は変わりますが、私は小学生のころから目が悪くて眼鏡をしていたのですが、母は視力のいい人でした。小学校高学年ごろに母に掃除をしなさいと言われて、自分なりにしたつもりが髪の毛



だったかホコリがおちていて、いつもはそんなに怒られないのに、ひどく怒られたことがありました。数年して母がこの件で「ごめんね」と謝ってきたのです。妙に理不尽な怒られ方だったという印象はあったので、当初はすっかり忘れていましたが、うすぼんやりながら思い出してくると、母が言うには「老眼になって、あなたの気持ちがわかった。見えないことってあるのね」と。数年後に謝るなんて律儀だなあとと思う部分と、前提がちがうってことがあるんだなあと中学生ながらぼんやりと考えたのを覚えています。

発達障害は脳や神経系のメカニズムの独自性から起きています。物の感じ方や捉え方が違うのは脳や神経系の働き方の違いによるものです。もしかすると性格や人格という話より、近視と老眼の話に近いのかもしれません。前提がちがうと見えているものが違う。またコロナ禍で、生活様式や価値観も一変してしまいました。「わかるために話す」「何を考えているんだろう。どこからそう思うんだろう」と温かい好奇心をもって相手とコミュニケーションがとれるといいなあと4月のはじまりに思っているところです。





## スタッフ紹介



### 柴 有花 先生

**好きなこと：**旅行やお出かけをする事が好きです。コロナ禍で最近あまり旅行には行けなくなりましたが、以前は友人と行ったことのない県に行って美味しいものを食べたり地酒を呑んだり観光地を巡ったり、海外にも出向いたりしていました。1人旅には京都がオススメです!!

**やりたいこと：**この春から1人暮らしを始めたので、様々な料理に挑戦していきたいと思います。また、色々な本に触れる機会を増やしておうち時間を充実させたいです。

**一言：**子どもたちと毎日楽しく過ごしながら、一人一人に見合ったサポートをしていければと思っています。まずはトライアングルの子どもたちと仲良くなっていきたいです。

## 教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



お店屋さんごっこのやりとりが上手になって、元気な店員さんとお客さんの声が部屋中に響いています。



皆で楽しいおやつタイム。好きなおやつのことや、学校でのできごとを話したりと和やかな時間です。



みんなで積み木王国作製中。遊びを通して、場やおもちゃの共有、協力することを自然に学んでいます。



反対側のお友達に届くように投げよう！ボール投げで、力の加減ができるように練習中です。

## 家庭で使ってほしい子育てのヒント

**子ども**にも落ち着きがないと、私たちはそれを否定的に考えてしまい『注意する』『怒る』という対応をしてしまいがちです。でも、子どもが悪いわけではありません。落ち着きのないのはエネルギーが有り余っている証拠。一生懸命に打ち込める可能性を持っているということです。『注意する』『怒る』以外の方法で接することができるように考えてみましょう。

1. **落ち着きのない子は『元気な子』『エネルギーが豊富な子』と考えるようにしましょう。**有り余るエネルギーを持っていることはその子の強みです。
2. **エネルギーを発散できる機会を作っておきましょう。**スポーツや趣味・習いごとなど、楽しく取り組めることを一緒に見つけてあげましょう。
3. **好きなことに集中できるようになったら少しずつ我慢することにチャレンジしよう。**簡単な約束、「5分間は集中して宿題をする。」などを一緒に決めてトライし、上手にできたら心から褒めてあげてください。その際、子どもの座る位置を工夫したり、おもちゃなど興味のあるものを隠すなどして、活動に集中できる環境を整えてあげることも忘れないでくださいね。

## スタッフのオススメ～グッズ編『てんとうむしジャンケン』～

**箱を開けると、大きな親てんとう虫が4匹と子どもてんとう虫がいっぱい出てきました。子どもてんとう虫のお腹側にはゲー・チョコキ・パーのジャンケンマークが印刷されています。そう！これはてんとう虫のお腹に印刷されたゲー・チョコキ・パーを使って遊ぶジャンケンゲームです。好きな親てんとう虫を選んで、子どもてんとう虫に被せて左右にカシャカシャと降ってみると・・・。あら不思議、てんとう虫がひっくり返って『ゲー』『チョコキ』『パー』が出てきました。てんとう虫がひっくり返るところがこのゲーム最大のミソで、子どもたちが食いついて大喜ぶするポイント。『選んで』『被せて』『振る』だけの簡単なルールなので、大人から小さな子まで、誰でも簡単に参加できます。他にも以下のような特長が。◎親てんとう虫を上げるまで勝敗が分からないのでドキドキ感を楽しめる。◎てんとう虫は4色あり、色の識別の練習に。◎最後に自分が持っているてんとう虫の数を数えて数の勉強に。トライアングルにもありますので、ぜひお試しください。**



**編集後記** 面倒をみている闘鶏たちに脚を骨折したおチビちゃんが加わった。生きていけるのか心配したが、4羽の兄弟の仲間に入って元気に暮らしている。チビはいつも4羽の後を追いかけているけれど、とにかく小さいから大変。足だけでは間に合わないで羽ばたきながら前のめりになって走っている。それがなんともいえず可愛くて愛おしい。そんな姿いつまでも見ていたいけれど、あと半年もすれば立派な大人になってしまう。我が子の時もそうだったけれど大切な時間はあっという間に過ぎていく。(M)

## トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : [triangle@shizuoka-fukushi.or.jp](mailto:triangle@shizuoka-fukushi.or.jp)